

## 第7章 実践ワーク＋使用プロンプト一覧

テーマ: AI×SEO・SNS で“届ける力”を最大化する！

---

### 【WORK1】検索ニーズを先取りする

- AI で今後注目される検索ワードを予測
- 自分のジャンルに絞って、検索されそうなワードを深掘り
- 記事タイトルや本文に、自然なかたちで組み込む

✖プロンプト使用例:

- 「今後 1 ヶ月以内に話題になりそうなニュース・エンタメ・ビジネスの検索トレンドをリストアップしてください」
  - 「30 代～50 代女性向けファッション記事で、これから検索ニーズが高まりそうなキーワードを予測してください」
  - 「このタイトル案に、検索ボリュームの高いキーワードを加えて、SEO 最適化してください」
- 

### 【WORK2】読者の共感ポイントを可視化する

- SNS コメントやレビューを AI に分析させて、感情が動いたポイントを抽出
- 共感しやすい感情表現を AI に提案させる
- 問いかけを入れた読者目線のストーリーにリライト

✖プロンプト使用例:

- 「このテーマについて、読者の感情が最も動いたポイントを分析してください」
  - 「この文章に、読者が共感しやすい感情フレーズを 3 つ加えてください」
  - 「この内容を問いかけのある読者目線のストーリーにリライトしてください」
-

## 【WORK3】SEO × SNS の掛け算でリーチを最大化

- SEO で検索ニーズに刺さるキーワードを配置
- SNS で初速をとり、共感やシェアを設計
- AI に投稿文・拡散設計を提案させる

✂プロンプト使用例：

- 「この記事を SNS で拡散させるための最適な投稿文を作成してください」
- 「この記事のテーマを Google で上位表示させるための最適なキーワードを提案してください」

### Google の検索基準を AI で記事に活かす(プロンプト集)

SEO に強い記事をつくるには、Google の評価軸そのものを理解し、それを AI に落とし込んで記事設計に活かすことが大切です。以下は、そのための具体的なプロンプト例です。

---

#### 🔥 1. 検索意図を深掘りする

検索者が「本当に知りたいこと」を AI に明確化させ、記事の方向性を設計します。

✂プロンプト使用例：

- 「このテーマで検索する読者が本当に知りたいことや、よくある疑問をリストアップしてください」

---

#### 🔥 2. 信頼性の高いデータや事例を加える

記事の“質”を高めるため、統計や専門情報を引用する。

✂プロンプト使用例：

- ・「このテーマについて、信頼できる情報源からのデータや事例を交えて、読者に納得感を与える文章を提案してください」
- 

### ✦3. 構成を整えて、最後まで読まれる文章にする

PREP 法やストーリーテリングを活用して、読者が読みやすい導線を作る。

✦プロンプト使用例：

- ・「この記事の内容に合う、PREP 法に沿った見出し構成と、読者を引き込む導入文を提案してください」

## 【WORK4】ニーズの選定とキーワードリサーチ

▶STEP1: AI で検索者の背景・悩みをリサーチ

- ・ 検索ユーザーが抱えている悩み・疑問を明確化
- ・ 読者目線での検索意図に基づいた構成を考える

✦プロンプト使用例：

- ・「このテーマを検索する人は、どんな背景や悩みや疑問を抱えているか、具体的に3つ挙げてください。テーマ:note 収益化」
- 

▶STEP2: 実用ツールで検索ニーズを可視化

- ・ ラッコキーワードで複合語を一覧化
- ・ Google サジェストで読者のリアルな検索語を把握

✦ツール使用例(プロンプト不要)：

- ・ ラッコキーワード:「note 収益化」で検索して出てきた関連語を収集
  - ・ Google サジェスト:「note 収益化」と入力して表示される関連語を確認
-

▶STEP3: AI で検索されやすいタイトルを生成

- ・ キーワードを自然に盛り込み、読者の感情を動かす言葉で設計
- ・ 検索される＋クリックされるタイトルを AI に提案させる

✖プロンプト使用例:

- ・ 「このキーワードで検索する読者が思わずクリックしたくなる記事タイトルを 3 つ作ってください。読者の感情に刺さる言葉を含めてください。キーワード: note 収益化」

🔥ポイントまとめ:

- ・ 読者の検索意図を AI で可視化
- ・ ラッコ・サジェストでリアルなキーワードを取得
- ・ 検索＋共感の両立するタイトルを AI に生成させる

---

## 【WORK5】SEO に強い記事を実際に作ろう

▶STEP1: 関連キーワードを自然に埋め込む

- ・ タイトル・見出し・本文にバランスよく配置
- ・ 違和感のない自然な流れを保つ

✖プロンプト使用例:

- ・ 「この文章の中に、SEO を意識して関連キーワードを自然に組み込んでください。ただし、読者が読みやすい文章を保ってください」

---

▶STEP2: 内部リンクで回遊率を上げる

- ・ 関連記事への導線を自然に挿入
- ・ ページ滞在時間・満足度アップを狙う

✖プロンプト補足使用例:

- 「この記事に関連する他の記事へ誘導する一文を作ってください」
- 

▶STEP3: 記事を定期更新して鮮度を保つ

- 数字・事例・年号などを最新版にアップデート
- 2025 年版など、タイトルにも反映

✖プロンプト使用例:

- 「この文章を、最新の SEO 傾向や読者ニーズを反映させて、アップデートしてください」
- 

▶STEP4: E-E-A-T に沿って信頼性を高める

① Experience (経験): 実体験を中心に執筆

💡自問ワーク:

- その時、何に悩んでいた？
- どんなきっかけがあった？
- 感情が動いた瞬間は？

✖プロンプト:

- 「以下の文章を、感情やリアリティを保ったまま、読者が共感しやすいようにリライトしてください(この後に実体験のエピソードを入れる)」

② Expertise (専門性): AI で知識を補足

✖プロンプト:

- 「この記事のテーマに関する、最近の専門的な知識や研究を簡潔にまとめてください」
- 「初心者にも伝わるように、この専門用語をやさしく説明してください」

③ Authoritativeness／④ Trustworthiness(権威性・信頼性)

✖プロンプト:

- ・「このテーマに関する信頼性の高い情報源を 3 つ挙げてください」
- ・「このテーマについて、最近の統計データや研究結果を教えてください」
- ・「影響力のある専門家のコメントや見解を紹介してください」

## X の実践ワーク【WORK6】

### WORK 内容

140 文字という制限の中に、note 記事のエッセンスや感情を凝縮し、複数の切り口で SNS 拡散する

---

### □STEP ごとの実践手順

1. note 記事の要点をまとめたツイートを作成する
  - プロンプト:「この記事の要点を X 用に 140 文字でまとめてください。キャッチーなタイトル+3 つのポイント形式をお願いします」
  - 出力された文章を X にコピー → 投稿
  - 1 記事に対して、まずは 1 パターン投稿してみましょう
2. 感情を動かすエピソード風ツイートを作る
  - プロンプト:「読者の心に響くようなエピソード調のツイートを 140 文字以内で作成してください」
  - 情緒的な要素が含まれるツイートは、共感を生みやすいです
3. 切り口を変えて、複数のツイートを設計する
  - プロンプト:「この記事をもとに、共感・驚き・統計という 3 つの切り口で、X 用ツイートを作ってください」
  - 1 つの記事に対して、3~5 パターンの投稿文をストックしておく、週に分けて再投稿が可能です
4. 画像やスクショを最大 3 枚添えて、世界観を伝える

- たとえば note のアイキャッチ、記事内の 1 文、関連の風景写真などを組み合わせて投稿

#### 5. 過去のツイートを“反応の良かった型”として再投稿

- X のインサイト(アナリティクス)を見て、「保存数・いいね・RT」が多い投稿を見直し、同じ構成で別タイトル版を作る

---

### X 活用 4 原則:

- ・ 要点を凝縮して「読まれる理由」を詰め込む
- ・ 共感・ストーリー性を持たせてリツイートされやすくする
- ・ 1 記事あたり週 3〜7 回を目安に、切り口を変えて投稿
- ・ “反応の良かった型”を分析して再投稿・改善を繰り返す

---

## Instagram の実践ワーク【WORK7】

### WORK 内容


「ストーリーズ」「通常投稿」「リール動画」を使い分け、note 記事の魅力を視覚＋感情で伝え、読者を自然に note へ導く

---

### □STEP ごとの実践手順

#### ＊1. ストーリーズ:リンク付き導線をつくる

##### 1. 要点を短く 3 行でまとめて AI に生成させる

-  プロンプト:「note 記事の要点を 3 行でまとめて、Instagram ストーリーズ用にしてください。最後に“こちらのリンクから読めます”と入れてください」
- 画像背景にテキストを重ねて投稿(Canva 等でも◎)

2. 「🔗リンク付き」で note 記事へ誘導
    - ストーリーズ投稿時に「リンク追加」機能を使い、note の URL を貼る
  3. ハイライトに保存
    - テーマ別に分類して保存し、常に見られる状態にする
- 

## ＊2. 通常投稿: 共感→ストーリーズへの流れを作る

1. タイトル・要点 3 つ・誘導文を AI で設計
    - 🗨️プロンプト: 「Instagram の通常投稿用キャプションを作成してください。タイトル＋要点 3 つ＋誘導文を含めてください」
  2. note リンクは貼れないため、誘導文を必ずつける
    - 文末に「この後はストーリーズのリンク or ハイライトからご覧いただけます」と記載
  3. 画像は、note のアイキャッチや記事の中の印象的な一文を使うと効果的
  4. ハッシュタグを忘れずに
- 

## ＊3. リール動画: 感情の“核心”を 30 秒で届けるナレーションを作る

1. AI に構成＋ナレーション台本を丸ごと作らせる
    - 🗨️プロンプト: 「note 記事の要点をもとに、Instagram リール動画の構成とナレーションスクリプトを作成してください。冒頭 5 秒で興味を引き、メインメッセージ、最後に『詳しくはストーリーズから』という導線を入れてください」
  2. 構成パターン(例)
    - 冒頭 5 秒: 問いかけ or 心をつかむセリフ
    - 中盤 15～20 秒: note 記事の要点・ストーリー
    - 終盤 5 秒: 「🔗詳しくはストーリーズから」＋余韻
- 

## 📌Instagram 活用の設計ポイント:

- ・ ストーリーズ: リンク＋ハイライト保存で継続導線をつくる



- **通常投稿**: 共感からストーリーズへの自然な誘導を設計
- **リール動画**: フォロワー外に“感情”でアプローチ
- **ハッシュタグ**: 新規読者と出会うために、戦略的に使う

## 投稿戦略を“仕組み化”する(SNS×SEO 最適化)

X や Instagram での発信を、ただの「感覚」や「気分」で終わらせず、AI の力で“届ける設計”へと進化させていく——それが、この最後のステップです。

SNS での投稿内容・時間帯・ハッシュタグ・フォーマット。  
こうしたすべての要素を、AI はまとめて提案・設計してくれます。

---

✳ プロンプト使用例:

「この note 記事を SNS で拡散するために、SEO キーワードを含めた X と Instagram 両方の投稿文を作ってください。投稿に適した時間帯やフォーマットのアドバイスをお願いします」

---

## まとめ

- X では、共感と拡散を生む“短文の力”を活かす
- Instagram では、感情と視覚を連動させて“世界観ごと”届ける
- AI では、投稿戦略を“仕組み化”して、意図して届ける設計に変える

SEO と SNS、それぞれが持つ力は大きいですが、このふたつが連動したとき——  
記事は“情報”から“想い”へと変わります。

あなたの言葉には、まだ出会っていない誰かの心を動かし、人生をほんの少しやわらかく変える力があります。

その力を AI という心強いパートナーと一緒に、  
本当に必要としている人へ、丁寧に、確かに、届けていきましょう。

---

この 7 章で扱ったワークはかなりボリュームのある実践内容になっています。  
あせらず、ひとつずつ。あなたのペースで、じっくり取り組んでみてくださいね。

心から応援しています。

天豆(てんまめ)